

第 137 回 日本脳神経外科学会 九州支部会 プログラム

2021 年 3 月 20 日（土）

Zoom を用いたオンライン発表とライブ視聴

産業医科大学脳神経外科（現地会場はありません）

- 開会 : 8 時 30 分～
- 教育セミナー : 12 時 10 分～（領域講習ではありません）
- 理事会 : 12 時 10 分～（Web 開催となります）
- FD 講習 : 17 時 00 分～

＜連絡事項＞

新型コロナウイルス感染症予防対策として、本会および FD 講習は Web 会議ツールである Zoom を用いたオンライン形式にて開催します。現地会場はありません。参会および FD 講習受講には、事前の参加登録が必要ですので、3 月 12 日（金）までに下記 URL より登録をお願いします。参加登録時のリプライメールを確認し、参会費 ¥1,000- を指定の銀行口座へ 3 月 15 日（月）までにお振込みをお願いします。

お振込みを確認次第、Zoom「URL」をご登録されたメールアドレス宛てへお送りします。

事前参加登録 URL : <https://www.entry-sys.net/ky137/user/7/input.php>

（脳神経外科学会 HP→学術総会・関連学会→支部会→九州支部 137 回→事前参加登録）

※ 事前登録期日：3 月 12 日（金） ※ 参会費振込期日：3 月 15 日（月）

- 日本脳神経外科学会が行う学術総会・支部学術集会における発表者は、利益相反 conflict of interest (COI) 状態を開示する義務があります。COI 自己登録および発表スライドにその旨を記載することが必要ですのでご注意ください。（詳細は日本脳神経外科学会 HP をご参照ください。）
- 発表者は九州支部会会員で年会費を納めている必要があります。ただし、初期研修医および他の支部会に所属し年会費を納めているものは、学術集会参加費のみで発表が許容されます。入会に関しては九州支部 HP をご参照ください（<http://square.umin.ac.jp/jnskyu/index.htm>）。
- 講演時間は 6 分、質疑応答は 2 分です。座長、演者の方は、Web 開催：オンラインマニュアル（座長/演者用）を、視聴参加の方は、Web 開催：オンラインマニュアル（視聴者用）をご確認ください。
- 本支部会の教育セミナーは領域講習としては認定されていません。本支部会終了後に FD 講習を行います。講習会の最初から最後まで視聴することを受講要件とします。途中退席はいかなる理由があっても無効となりますのでご注意ください。FD 講習受講の方は、Web 開催：オンラインマニュアル（FD 講習用）をご確認ください。
- プログラム・抄録集は HP（<http://jns.umin.ac.jp/meeting/branch/ky137>）よりダウンロードできます。

Web 開催：オンラインマニュアル（座長/演者用）

I. 事前準備

1) ネットワークの準備と設定

- ・ 有線 LAN 接続を強く推奨いたします。
- ・ **高速 Wi-Fi** も使用可能ですが、通信が安定しない場合が多々あります。事前に YouTube、GYAO!など複数の動画配信サイトを 10 分程度視聴できることをご確認ください。
- ・ 学内ネットワークをお使いの場合、セキュリティにより ZOOM にアクセスできない場合がありますので、事前にネットワーク管理者に Zoom を利用したウェブ学会参加を予定している旨をご確認いただくとより安心です。

2) 付属設備の準備と設定（マイク、スピーカー、カメラ）

- ・ **ヘッドセット（マイク付きヘッドフォンなど）** をご利用することを推奨いたします。
相手の声が聞き取りやすくなり、またエコーによるハウリングなどの障害を防止します。
- ・ パソコン内蔵のマイク・スピーカーでも最低限の通話は可能ですが、ウェブ会議用のマイク・スピーカーを外付け（USB 接続が一般的）することで、より快適な通話が可能になります。
- ・ 座長および演者は、パソコン内蔵カメラや外付けカメラを使ってご自身の映像を送出してください。
- ・ ワイヤレスマイクのマイク付きヘッドフォンをご利用の場合は、接続前に充電が十分にされていることを確認してください。

～初めて ZOOM 会議システムをご利用の方へ～

3) アプリの事前インストールと動作確認

Zoom 会議システムを初めて利用される場合は、事前にアプリケーションのダウンロードとインストールが必要となります。ネットワークの状況が悪いとダウンロードに時間がかかり学会の開始に間に合わないことがあるため、事前にネットワークが十分な場所で動作確認しておくことをお勧めいたします。

II. セッション会場入室の際の注意点

発表順に関わらず当該セッション開始の 15 分前までには、入室完了していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

1) 発表会場への入室方法

事前に学会事務局よりご発表会場となる Zoom ミーティングの「URL」をお送りします。

URL をクリックして ZOOM にアクセスしてください。 クリックせずに、URL をコピー & ペーストして ZOOM にアクセスした場合、正しく ZOOM へ参加いただくことができません。

この場合、一度 ZOOM を終了し、「メールの URL をクリックする」ところから再度入室してください。

2) 参加者名

今回使用する Zoom ミーティングでは、Zoom 上のお名前は各先生方の設定が反映されます。

大変申し訳ありませんが、Zoom のお名前の設定をお願いいたします。

お名前を設定して頂くためには、事前に Zoom アプリのインストールが必要になります。

以下のサイトにてお名前の設定方法について紹介しています→<https://www.kashi-mo.com/media/63223/>

事前のお名前の設定が難しい場合は、セッションに参加してからお名前の変更も可能ですので

オペレーターから、先生のお名前を確認させて頂いて変更いたします。

3) マイク音声ミュートの確認

「発言する時」以外は必ず音声をミュートするようにしてください。

音声のハウリング等の原因となり他の視聴者が聞きづらくなってしまいます。また座長は、演者が音声ミュート解除を忘れて音声が聞こえない場合、音声ミュートを解除するように演者へお声がけしてください。

4) 受信映像や資料等の扱い

発表者や主催者の許可がない限り、受信映像や発表資料の保存（画面キャプチャを含む）、録音、再配布は禁止いたします。

Ⅲ. 座長へのお願い事項

1) セッション進行について

はじめに、学会事務局から、セッション開始のアナウンスを行います。

アナウンス後は、ご担当セッションの進行管理は座長にお任せいたします。

座長の演者紹介コメントで演者ご自身が ZOOM の画面共有を行って発表をお願いします。

発表終了後に、画面共有を終了していただき、オペレーターが座長、演者のカメラ映像を出しますので、質疑応答をお願いいたします。

セッションの終了時間の厳守をよろしくお願いいたします。講演時間は 6 分、質疑応答は 2 分です。

2) マイク音声ミュートの確認

セッション中の雑音やハウリングなどのトラブルを避けるため、発表者のマイクは、不要なときは音声ミュートにさせていただくよう周知徹底してください。座長の先生も、発言されるときや質疑応答のときだけ音声ミュートを解除し、発表者の発表中は音声ミュートにさせていただくようご協力をお願いいたします。

3) 質疑応答について

質疑応答について(※今回使用するのは Zoom の“チャット機能”です)

質疑応答の際は Zoom の【チャット機能】を用いて、参加者(視聴者)からの質問をご確認頂けます。

セッション中に、参加者から送信された質問は適宜、学会事務局より Zoom のチャットにお送りしますので、座長の先生方は随時、チャットのご確認をお願いいたします。座長が口頭で読み上げ、該当の演者が口頭で答えるようにしてください。参加者（視聴者）はマイクを使うことはできません。

IV. その他、ご配慮いただきたい事項《座長、演者》

1) 場所の確保

発表の際には、周辺の他の会話が聞こえたり、電話がかかってきて中断しなくても良いような、発表やセッション進行の邪魔にならない場所を確保してください。また、背景に関係ない人が映りこまないよう、ご配慮ください。

また、ネットワークや電源を確認してください。（電力の消費が大きいので、途中でバッテリーがなくならないように。）ネットワークの速度が遅い、安定しない場合は、画面共有を行う際に、映像の切り替えが大きく遅れることがあります。

2) 著作物の引用

著作物の引用には十分にご留意下さい。図などオリジナルでないものを引用する際には、必ず出典を明示してください。

3) 主催者側からの制御

無用な音声の流入や不安定なネットワークからの接続などにより、学会の進行に支障があると判断される場合には、主催者側から強制的に音声のミュート操作や映像の切断操作等を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

V. 進行について

はじめに、学会事務局から、セッション開始のアナウンスを行います。

アナウンス後の進行管理は座長にお任せいたします。

- (1) セッション開始時に演者の参加の確認ができない、あるいは接続が不安定で呼びかけに呼応がないときは、発表の順番を変更するもしくは、発表ができない場合があります。

この場合、質疑応答ができないことがありますので、ご了承をお願いします。

- (2) 座長の演者紹介コメントで演者ご自身が ZOOM の共有画面に切り替えて発表をお願いします。
発表終了後、演者は共有画面を閉じてください。座長、演者のカメラ映像をオペレーターが出しますので、質疑応答をお願いいたします。

以上、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

Web 開催：オンラインマニュアル（視聴者用）

I. 事前準備

1) ネットワークの準備と設定

- ・ **有線 LAN 接続を強く推奨いたします。**
- ・ **高速 Wi-Fi** も使用可能ですが、通信が安定しない場合が多々あります。事前に YouTube、GYAO! など複数の動画配信サイトを 10 分程度視聴できることをご確認ください。
- ・ 学内ネットワークをお使いの場合、セキュリティにより ZOOM にアクセスできない場合がありますので、事前にネットワーク管理者に Zoom を利用したウェブ学会参加を予定している旨をご確認いただくとより安心です。

～初めて ZOOM 会議システムをご利用の方へ～

2) アプリの事前インストールと動作確認

Zoom 会議システムを初めて利用される場合は、事前にアプリケーションのダウンロードとインストールが必要となります。ネットワークの状況が悪いとダウンロードに時間がかかり学会の開始に間に合わないことがあるため、事前にネットワークが十分な場所で動作確認しておくことをお勧めいたします。

II. セッション試聴の際の注意点

Zoom ウェビナーでのセッションの視聴になります。

1) 発表会場への入室方法

事前に運営事務局より発表会場となる Zoom ウェビナーの「URL」をお送りします。

URL をクリックして ZOOM にアクセスしてください。クリックせずに、URL をコピー & ペーストして ZOOM にアクセスした場合、正しく ZOOM へ参加いただくことができません。

この場合、一度 ZOOM を終了し、「メールの URL をクリックする」ところから再度入室してください。

2) 質疑応答について

質疑応答「Q&A 機能」について

質疑応答は Zoom の Q&A 機能を用いて参加者（視聴者）から質問を受け付けます。

セッション中、座長が、Q&A 機能の画面から適宜質問を選んで、質疑応答を行います。Q&A 機能で受けた質問は他の視聴者は見ることはできません。座長が口頭で読み上げ、該当の演者が口頭でお答えします。

参加者（視聴者）はマイクを使うことはできません。

以上、よろしくお願いいたします。

Web 開催：オンラインマニュアル（FD 講習用）

I. 事前準備

1) ネットワークの準備と設定

- ・ **有線 LAN 接続を強く推奨いたします。**
- ・ **高速 Wi-Fi** も使用可能ですが、通信が安定しない場合が多々あります。事前に YouTube、GYAO! など複数の動画配信サイトを 10 分程度視聴できることをご確認ください。
- ・ 学内ネットワークをお使いの場合、セキュリティにより ZOOM にアクセスできない場合がありますので、事前にネットワーク管理者に Zoom を利用したウェブ講習会参加を予定している旨をご確認いただけるとより安心です。

～初めて ZOOM 会議システムをご利用の方へ～

2) アプリの事前インストールと動作確認

Zoom 会議システムを初めて利用される場合は、事前にアプリケーションのダウンロードとインストールが必要となります。ネットワークの状況が悪いとダウンロードに時間がかかり講習会の開始に間に合わないことがあるため、事前にネットワークが十分な場所で動作確認しておくことをお勧めいたします。

II. 試聴の際の注意点

Zoom ウェビナーでの視聴になります。

FD 講習会開始 5 分前までに入室をお願いします。

1) 発表会場への参加方法

受講申し込みを頂いた先生に学会事務局より **FD 講習会 Zoom ウェビナー**の「視聴用 URL」をお送りします。

当日の入室時間になりましたら視聴用 URL をクリックしていただきますと「ウェビナー登録」というサイトに移動しますのでそのサイト内で必ず【名前・メールアドレス】の 2 つの項目にご入力いただき Zoom へのアクセス行って受講して下さい。

【名前・メールアドレス】の 2 つの項目にご入力が無い場合は、受講確認ができませんのでご注意ください。

2) ご視聴に関する注意事項

今回の FD 講習会 Zoom ウェビナーでは、事前に登録手続きが完了している先生方のみセッションを視聴できます。

複数の端末での視聴は不可能になります。PC で登録作業を行われた場合は PC からの視聴をお願いいたします。

PC で登録された後に、スマートフォンでの視聴などはできません。

FD コース単位認定には、FD コース開始以前の入室～FD コース終了以降の退室が、途中退席なく確認された場合のみ単位認定いたします。いかなる理由でも開始以降の入室、途中退席された場合には、単位認定はされませんので、ご注意ください。

以上、よろしくお願いいたします。

第 137 回 日本脳神経外科学会九州支部会 プログラム

2021 年 3 月 20 日 (土)

Zoom による Web セッション

■ 開会挨拶 8 : 30 山本 淳考 (産業医科大学)

セッション 1 脳血管障害 (1)

8 : 35-9:05

座長 鈴木 恒平 (産業医科大学)

1 外傷を契機にプラーク破綻をきたした頸動脈狭窄の1例

長崎労災病院脳神経外科

近松 元気, 岡村 宗晃, 広瀬 誠, 北川 直毅

2 繰り返す脳梗塞にて発症した肺動静脈奇形の一例

¹済生会八幡総合病院脳神経外科センター, ²久留米大学医学部脳神経外科

野中 崇久¹, 藤森 香奈¹, 宮城 尚久¹, 岡本 右滋¹, 梶原 収功¹, 森岡 基浩²

3 前頭蓋底部硬膜動静脈瘻の一例

社会医療法人製鉄記念八幡病院脳卒中・神経センター

辻 桐子, 春山 裕典, 山口 慎也, 佐山 徹郎

セッション 2 脳血管障害 (2)

9:10-9:40

座長 杉田 憲司 (大分大学)

1 真の後交通動脈瘤の一例

¹佐賀大学医学部卒後臨床研修センター, ²佐賀大学医学部脳神経外科

後藤 憲人¹, 桃崎 明彦², 古川 隆², 伊藤 寛², 高口 素史², 吉岡 史隆²,

井上 浩平², 緒方 敦之², 中原 由紀子², 阿部 竜也²

2 副中大脳動脈を有する遺残原始嗅動脈に発生した

A1 脳動脈瘤の稀な 1 症例

¹長崎医療センター初期研修プログラム, ²長崎医療センター脳神経外科,

³長崎医療センター診療看護師

副島 航介¹, 小川 由夏², 川原 一郎², 塩崎 絵理², 本田 和也³, 伊藤 健大³,
諸藤 陽一², 小野 智憲², 原口 渉², 堤 圭介²

3 末梢性動脈瘤破裂により2度出血を繰り返したもやもや病の一例

佐賀大学医学部脳神経外科

牛島 宏貴, 井上 浩平, 桃崎 明彦, 高口 素史, 伊藤 寛, 吉岡 史隆, 緒方 敦之,
中原 由紀子, 増岡 淳, 阿部 竜也

セッション 3 脳血管障害 (3)

9:45-10:15

座長 大田 元 (宮崎大学)

1 分岐部治療支援デバイスPulseRiderを用いて治療した

中大脳動脈分岐部未破裂動脈瘤の1例

¹福岡大学筑紫病院脳神経外科, ²福岡大学筑紫病院脳卒中センター

井上 律郎¹, 花田 迅貫¹, 平田 陽子¹, 武村 有祐¹, 坂本 王哉¹, 新居 浩平¹,
山田 美穂², 木村 聡², 津川 潤², 東 登志夫¹

2 菌状息肉症の加療中に前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血を 発症した 1 例

熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座

斎藤 大嗣, 賀来 泰之, 山本 隆広, 林 建佑, 大森 雄樹, 武笠 晃丈

3 Direct CCF治療後にCS-DAVFを合併した1例

¹長崎大学病院医療教育開発センター, ²長崎大学医学部脳神経外科

濱崎 哲¹, 堀江 信貴², 定方 英作², 高平 良太郎², 松永 祐希², 出雲 剛²,
案田 岳夫², 松尾 孝之²

座長 堀江 信貴 (長崎大学)

1 切迫性尿失禁を伴う鬱血性脊髓症の頭蓋頸椎移行部硬膜動静脈瘻の1症例

¹済生会福岡総合病院脳神経外科,

²医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック, ³久留米大学脳神経外科

安藤 尊康¹, 内門 久明², 中村 普彦¹, 永瀬 聡士¹, 伊東 夏子¹, 大倉 章生¹,
森岡 基浩³

2 術前にシャント位置の同定が困難であった頸髄 radicular AVFの1例

¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科,

²広島大学大学院医歯薬保健学研究院脳神経外科学, ³鹿児島市立病院脳神経外科

渡邊 章二¹, 米永 理法¹, 田中 俊一¹, 山畑 仁志¹, 光原 崇文², 川原 団³,
西牟田 洋介³, 時村 洋³, 吉本 幸司¹

3 Perimedullary AVFによるくも膜下出血の1例

¹福岡市民病院脳神経外科, ²福岡大学医学部脳神経外科

平尾 宜子¹, 福島 浩¹, 吉野 慎一郎¹, 平川 勝之¹, 井上 亨²

座長 森下 登史 (福岡大学)

1 SAH後NPHに対するVP-shuntは長期的に必要なか？

久留米大学医学部脳神経外科

上瀧 善邦, 小牧 哲, 大久保 卓, 折戸 公彦, 廣畑 優, 森岡 基浩

2 脳卒中後PSHに対して早期にITB療法を導入し軽快した一例

¹敬愛会中頭病院脳神経外科, ²久留米大学医学部脳神経外科

濱本 裕太¹, 土井 亮¹, 大久保 卓², 服部 剛典², 森岡 基浩²

3 脳疾患治療就労両立支援における高齢層の特徴

¹九州労災病院門司メディカルセンター脳神経外科,

²九州労災病院門司メディカルセンターリハビリテーション科, ³産業医科大学脳神経外科

梅村 武部¹, 蜂須賀 研二², 近藤 弘久¹, 太田 浩嗣¹, 山本 淳考³

セッション 6 脊髄

11:30-12:00

座長 増岡 淳 (佐賀大学)

1 SyringobulbiaとSyringomyeliaにて発症した頸髄血管芽腫の一例

¹福岡大学医学部脳神経外科, ²福岡東医療センター脳神経外科

廣田 篤¹, 松本 順太郎¹, 神崎 由起¹, 福本 博順¹, 小林 広昌¹ 安部 洋¹,
野中 将¹, 保田 宗紀², 大城 真也², 井上 亨¹

2 脳底部癒着性くも膜炎による脊髄空洞症

¹新小文字病院脳神経外科, ²福岡新水巻病院脳神経外科,

³池友会福岡和白病院脳神経外科

駒谷 英基¹, 藤原 誠人², 守本 しおり¹, 植田 邦裕¹, 押方 章吾¹, 原田 啓³,
福山 幸三³

3 LPシャント術後に発生した神経根痛が腰椎カテーテル短縮にて改善した1例

¹長崎医療センター脳神経外科, ²長崎医療センター診療看護師

原口 渉¹, 小川 由夏¹, 塩崎 絵理¹, 伊藤 健大², 本田 和也², 諸藤 陽一¹,
川原 一郎¹, 小野 智憲¹, 堤 圭介¹

■理事会 (Web 会議) 12:10-13:10

九州支部事務局より送付しました、理事会 URL へご参加ください

■教育セミナー（Web ライブ配信） 12:10-13:10

テーマ：『経頭蓋直流電気刺激のリハビリテーション治療への応用』

産業医科大学 リハビリテーション医学 講師 伊藤 英明 先生

座長 齋藤 健（産業医科大学 脳神経外科）

セッション 7 小児脳神経外科

13:20-13:50

座長 大吉 達樹（鹿児島大学）

- 1 胎児期に急速な増大を示した多房性Gliependymal cystに対して
神経内視鏡的嚢胞壁開窓術及び嚢胞腹腔シャント術を行い
良好な治療効果を得た一例

¹九州大学大学院医学研究院脳神経外科, ²九州大学大学院医学研究院神経病理学
入江 耕平¹, 下川 能史¹, 迎 伸孝¹, 空閑 太亮¹, 岩城 徹², 溝口 昌弘¹

- 2 髄芽腫に対する開頭腫瘍摘出術後に可逆性後頭葉白質脳症を
呈した一例

¹久留米大学医学部脳神経外科, ²久留米大学臨床研修センター,
³久留米大学医学部小児科
中嶋 大介¹, 穴井 航², 小牧 哲¹, 中村 英夫¹, 森岡 基浩¹, 向井 純平³,
長井 孝二郎³, 中川 慎一郎³, 大園 秀一³

- 3 小脳虫部に発生し残存病変が急速に増大したロゼット形成性グリア神経
細胞性腫瘍の1例

¹熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座, ²熊本大学病院病理診断科,
³群馬大学大学院医学系研究科病態病理学分野
生田 源起¹, 林 建佑¹, 大田 和貴¹, 竹崎 達也¹, 黒田 順一郎¹, 篠島 直樹¹,
三上 芳喜², 横尾 英明³, 武笠 晃丈¹

座長 黒田 順一郎 (熊本大学)

- 1 Hemifacial spasmで発症した前庭神経鞘腫の1手術例
沖縄県立中部病院脳神経外科
矢野 昭正, 石川 泰成
- 2 眼窩・海綿静脈洞外側壁より発生した
Hybrid peripheral nerve sheath tumorの1例
国家公務員共済組合連合会浜の町病院脳神経外科
松尾 諭, 檜垣 梨央, 松角 宏一郎
- 3 胸髄髄内上衣腫の術前診断で摘出した髄内神経鞘腫の1症例
¹済生会福岡総合病院脳神経外科, ²医療法人コーパス イン うちかど脳神経外科クリニック,
³久留米大学医学部脳神経外科
伊東 夏子¹, 内門 久明², 永瀬 聡士¹, 中村 普彦¹, 大倉 章生¹, 森岡 基浩³

座長 坂田 清彦 (久留米大学)

- 1 前頭蓋底外側への進展を伴った下垂体腺腫に対し開頭・経鼻同時手術を行った1例
宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
堀之内 翔一, 渡邊 孝, 河野 智樹, 山下 真治, 大田 元, 横上 聖貴, 竹島 秀雄
- 2 錐体テント部en plaque meningiomaの一例
新古賀病院脳卒中脳神経センター脳神経外科
安部 啓介, 亀田 勝治, 石堂 克哉, 一ツ松 勤

3 上眼窩裂内海綿状血管腫の1例

¹福岡大学医学部脳神経外科, ²福岡大学医学部卒後臨床研修センター

武田 夏奈², 神崎 由起¹, 入江 由希乃¹, 福本 博順¹, 小林 広昌¹, 安部 洋¹,
井上 亨¹

セッション 10 脳腫瘍 (3)

15:05-15:45

座長 秦 暢宏 (九州大学)

1 脳梁に発生しgiant cell を伴ったhigh grade gliomaの1例

長崎大学医学部脳神経外科

平山 航輔, 吉田 光一, 日宇 健, 氏福 健太, 馬場 史郎, 高平 良太郎,
松尾 孝之

2 硬膜転移を来した消化管間質腫瘍 (GIST) の1例

¹九州大学大学院医学研究院脳神経外科, ²九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科, ³九州大学大学院医学研究院形態機能病理学

麦田 史仁¹, 三月田 祐平¹, 秦 暢宏¹, 空閑 太亮¹, 藤岡 寛¹, 沖 英次²,
山元 英崇³, 溝口 昌弘¹

3 巨大皮下腫瘍で発症した転移性頭蓋骨腫瘍の1例

¹北九州総合病院脳神経外科, ²北九州総合病院総合外科,

³産業医科大学脳神経外科

鳥居 里奈¹, 豊福 篤志², 外尾 要¹, 呉島 誠¹, 野上 健一郎¹, 出井 勝¹,
山本 淳考³

4 放射線照射40年後に発症した側頭骨骨肉腫の一例

¹原三信病院脳神経外科, ²九州大学大学院医学研究院脳神経外科,

³福岡市立病院機構福岡市立こども病院脳神経外科, ⁴原三信病院病理診断科

小柳 侑也¹, 庄野 禎久¹, 舟越 勇介², 黒木 愛³, 森岡 隆人¹, 河野 眞司⁴

座長 宮城 智央 (琉球大学)

1 初回脳生検で脳炎の診断となった悪性リンパ腫頭蓋内再発の1例

宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野

小笠原 奈月, 山下 真治, 堀之内 翔一, 河野 智樹, 齋藤 清貴, 入佐 剛,
武石 剛, 水口 麻子, 渡邊 孝, 大田 元, 横上 聖貴, 竹島 秀雄

2 非典型的画像所見を呈し high grade glioma との鑑別に難渋した
Primary central nervous system lymphoma

産業医科大学脳神経外科

室谷 遊, 藤 圭太, 鈴木 恒平, 中野 良昭, 齋藤 健, 宮岡 亮, 宮地 裕士,
島袋 太一, 酒井 恭平, 岡野 琳太郎, 武田 康, 山本 淳考

3 術前診断に難渋した神経サルコイドーシスの一例

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

上野 滋登, 東 拓一郎, 米澤 大, 花谷 亮典, 吉本 幸司

■ 閉会の辞 16:20 山本 淳考 (産業医科大学)

■ FD 講習 17:00-18:00

支部会 Zoom は退室し、FD 講習 Zoom へ入室してください